



ささえあい

志布志市社会福祉協議会 第100号

赤い羽根共同募金運動スタート ご協力よろしくお願ひします!!



Aコープあおぞら店



サンポートしぶシアピア



サンポートしぶシアピア



ナフコ志布志店



ニシムタ志布志店



ニシムタ志布志店



生協コープかごしま志布志店



ほりぐち志布志店



ミネサキ有明店

広報紙100号に 寄せて

会長 溝口 敏久

社協の合併後、18年経過し、100号を発行できたことは、嬉しい限りです。

さて、昭和37年、全国社協が、社協組織と活動のあり方を示す基本要項を策定し、今回、社会情勢の変化とともに社協の果たす役割の広がりから、30年ぶりに改定されます。

その中で唯一不変の原則は、「住民主体」であり、60年以上の時を経ても変わらない普遍的なもので、活動の根幹をなすものです。当社協も黒子のような存在として地域に寄り添ってまいりました。

今後も、この活動原則をもとに、社協理念「共にささえあい笑がおで暮らせる地域をめざして」、地域を中心とし、社協の役割を果たすよう邁進してまいります。市民の皆様方の御協力をお願い申し上げます。



この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金の一部により発行されています。

令和6年度 志布志市地域福祉推進大会を開催します

令和6年11月23日(土曜日) 勤労感謝の日

場所… コミュニティセンター志布志市文化会館

時間… 10時から11時55分まで

永年にわたり地域福祉の発展に寄与された方々を表彰するとともに、「地域で備える防災について」と題しシンポジウムを行います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

志布志市地域福祉推進大会会長表彰 (敬称略)

〈表彰の部〉

① 民生委員児童委員として、8年以上その職務に従事し、功績があって、現に在職している者(1名)

町名	氏名
志布志町	ナガノ マサトミ 長野 正 富

② 社会福祉施設の長及び職員、並びにホームヘルパー・相談員として12年以上その職務に従事し、功績が顕著であって、現に在職している者(7名)

町名	氏名
志布志町	シラハ ママカツ ヒロコ 白 濱 克 博
有明町	ヨシギ オカカ およ 吉 岡 か お よ
曾於市大隅町	スズキ キミノル 鈴 木 稔
志布志町	ミチノ ウエノ ナホコ 道 上 菜 穂 子

町名	氏名
曾於市大隅町	オオノ サコ ヒロコ 大 迫 宏 子
有明町	イリノ エミ ミチノ 入 江 英 美
志布志町	キモツキ デイ スケ 肝 付 大 輔

③ 社会福祉団体等の役員及び職員として、9年以上その職務に従事し、功績が顕著であって、現に在職している者(3名)

町名	氏名
松山町	ヒラハ ハラ サブ ロウ 平 原 三 郎
志布志町	コノヘ ハタカズ オト 木 幡 一 夫

町名	氏名
有明町	オノノ タカコ 小野田 かつ子

④ 社会福祉事業の推進のために5年以上にわたり、ボランティア活動を行い、又はボランティア活動への支援を行っている個人、グループ、団体、企業、学校等(2名)

町名	氏名
有明町	フジ タ カオル 藤 田 薫

町名	氏名
有明町	ホン ジ マサコ 本 地 正 子

〈感謝の部〉

⑤ 社会福祉の向上・推進に多大の金品を寄附又は、その事業並びに活動に協力している者、団体(1団体)

町名	氏名
志布志町	ユウゲンカイシヤ 有限会社 ミヤウチ

児童・生徒のふれあいボランティア活動事業表彰

児童・生徒のふれあいボランティア活動事業50ポイント達成者(6名)

町名	氏名
志布志町	イチキ ユウラ 市 来 優 楽
志布志町	トクシゲ ルイ 徳 重 瑠 威
志布志町	ニシウラ ムネ 西 麗 晶

町名	氏名
志布志町	カワゴエ ハルキ 川 越 陽 希
志布志町	ヤマナカ ラム 山 中 徠 夢
志布志町	スエノ マナカ 末 野 愛 花

サマーボランティアを実施しました

福祉に関する興味や関心を持ち、ボランティア活動への意識と理解を深め、今後のボランティア活動への積極的参加を促すことを目的に、夏休みを利用してサマーボランティアを行いました。
 受入事業所・団体の皆様、ありがとうございました。



特別養護老人ホーム賀寿園

あんらく保育園

しぶし幼稚園

有明保育園

通山サロン

オレンジほっとカフェたまり場

ありあけ苑

デイサービスセンターやっちく

セルプしぶし

放課後等デイサービス ららら kids

コーヒータイム in 森山

供養松サロン



災害ボランティアセンター設置・運用訓練

志布志市社協デイサービス

★このボランティアを通じた事は、自分を感じた事や、言葉の壁が思いません。
 ★一緒に話したいと思った事が、自分自身も楽しかった。
 ★お話を聞いたり、一緒に笑ったり、おしゃべりができて良かった。
 ★おしゃべりや、おしゃべりができて良かった。
 ★おしゃべりや、おしゃべりができて良かった。
 ★おしゃべりや、おしゃべりができて良かった。



森山小学校 2年
いわきり ようへい
岩切 耀平さん



森山小学校 1年
いちき ななほ
一木 七歩さん

★シルバークラス★
20ポイント達成



森山小学校 4年
いちき ひより
一木 妃由利さん

★達人クلاس★
150ポイント達成

地域小中高生がボランティア活動や、ボランティア活動カードに押印をもらってポイント活動へつなげる活動を行います。

ボランティアポイント
olunteer point
ポイント

ふれあい
ボランティア
活動事業

災害ボランティアセンター設置・運用訓練を実施

8月26日（月）に有明地区公民館において、令和6年度災害ボランティアセンター設置・運用訓練を実施し、災害ボランティアセンターの役割や流れについて確認をした後、実際に訓練を実施しました。

その後、志布志市社協福祉課長による能登半島地震九州ブロック災害派遣支援の実施報告と志布志市役所総務課危機管理監の萩原様による「南海トラフ地震臨時情報等、能登半島地震の現地を見て」と題し講話をいただきました。災害への備え、防災について考える機会としました。

『災害ボランティアセンターにおける活動の流れ』

① ニーズ受付



被災者からの依頼を受け付けます。必要に応じて、依頼促進のチラシ配付や現地調査を行います。

② ボランティア受付



受付票とボランティア活動保険加入カードへの記入、名札の作成を行います。

③ オリエンテーション



被災者のプライバシーの保護や寄り添うことの大切さなど活動上の留意事項等の説明を受けます。

④ マッチング



被災者からの依頼内容の説明を聞き、参加したい活動に手を挙げ、活動先を選択します。

⑧ 活動報告



リーダーは活動状況と活動継続の有無をスタッフに報告します。活動継続が必要な場合は引継ぎ事項を伝えます。

⑦ 救援活動



「被災者に『寄り添う』という気持ちを大切にしながら、福祉救援活動を行います。

⑥ 資材の貸し出し・送迎



必要な資材等の貸し出しのチェックを受けます。必要に応じて作業用車両の貸し出しやボランティアの送迎も行われます。

⑤ グループング



グループをつくり、リーダーを決め、詳しい依頼内容の説明を受けます。

※写真は全てイメージです。

○参加者の声（アンケートより）

- ★初めての活動でしたが、訓練が大切であり経験してみないとわからない事がたくさんあって勉強になりました。
- ★大変勉強になりました。まだまだ改善する事が多いですが、年に1回ではなく何回かあれば良い。実際は、もっと混乱すると思うので、係の方も落ち着いて対応して欲しい。

志布志市社協では、今後も志布志市ボランティア連絡協議会と共催で災害ボランティアセンター設置・運用訓練を継続して実施していきます。

大規模な災害が発生した場合には市民の皆様も被災者となることも想定されます。近隣の被災者の方へ災害ボランティアセンターで生活再建のお手伝いをしていることを教えたり、被害がなかった場合には、ご近所同士の助け合いや災害ボランティアセンターでの道路（場所）の案内など地域の方にしかできない活動もあります。社会福祉協議会では災害時も地域の方が共にささえあって暮らしていける地域づくりを進めてまいります。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震に伴い設置・運用されている珠洲市災害ボランティアセンターの運営支援に行っていました。

派遣期間は8月5日から12日までの6泊7日で、初日と最終日は鹿児島市、金沢市間の移動日で、実質5日間の支援でした。

震災発生後から7か月経過しておりますが、珠洲市に向かう道中も土砂崩れによる通行止めや、うねりや隆起と陥没があり通常では通行できない場所も多々ある状況でした。珠洲市内に入ると倒壊した家屋も交通等に影響のない部分は片付けも進まずそのままの状態、倒れないように支えのした家や瓦が落ちてブルーシートで応急措置されたままの家など被害の状況が見て取れ、海沿いの地区では液状化現象の影響でマンホールが地表に浮き上がってしまっている状況でした。水道復旧率も家の前までは7割とのことでしたが、家屋がそういった状況で修復が進まず3割程度とのことでした。



珠洲市社会福祉協議会は珠洲市役所庁舎内の一角にあり、珠洲市災害ボランティアセンターは市役所敷地内の駐車場2棟を利用して運営されていました。

私はオリエンテーション・マッチング班を担当し、被災された方々の困りごとと全国から駆け付けてくださったボランティアさんを結び付ける業務を行いました。



派遣時の主なニーズは家屋からの家具類の運び出し、ゴミの搬出、庭に散乱したがれき等の撤去・廃棄でした。

酷暑の中、全国から駆け付けてくださり、被災された方々のために一生懸命取り組まれるボランティアの方々には本当に頭の下がる思いでした。

まだまだ支援が必要な状況で、ボランティアの方々をはじめ、珠洲市社協の皆さんが被災者の方々に寄り添いながら復興に向けて頑張っておられる姿を目の当たりにして、その一助になればとの思いで活動してまいりました。

珠洲市災害ボランティアセンターの活動の様子は珠洲市社会福祉協議会のフェイスブックにアップされています。ご覧ください。



し訓練と地域で備える防災について話をいただきました。災害時に自治会で声を掛け合い、見守りなどの手助けができるよう、日頃から近所同士の繋がりが大切だとのこと、何気ない普段のつながりが大切であると再確認した一日になりました。
(寄稿：新橋地区コミュニティ協議会)



令和6年9月7日(土)新橋地区コミュニティ協議会、自治会長、新橋地区住民による「新橋地区防災研修会」を開催しました。

『新橋地区防災研修会』を実施しました

赤い羽根共同募金



共同募金は、赤い羽根をシンボルに「赤い羽根共同募金運動」が10月1日から展開されています。

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう「じぶんの町を良くするしくみ」です。

皆様から寄せられた募金は鹿児島県共同募金会に送られて、募金の一部が助成金として志布志市共同募金委員会に受け入れ、地域福祉活動に取り組み団体等の活動経費として助成し、地域福祉の向上のために使われます。令和6年度に助成を受けられた一部団体を紹介いたします。



ありあけ子供食堂

子どもたちが地域でつながる居場所作りとして2か月に1回子ども食堂を開催されています。

★ありがとうメッセージ「カレーがとても美味しいです。次もぜひ、来たいです。ありがとうございました。」

といたみなさんの声が聞かれました。



志布志市老人クラブ連合会

「仲間づくり」「健康づくり」「生きがいづくり」を目的に地域貢献活動として会員から集められたタオルを市内の施設・学校等への寄贈や小学生との世代間交流やスポーツや研修などの活動により高齢者の引きこもりや孤立防止が図られています。



朗読ボランティア「鈴」

市報「しぶし」を朗読してCDに録音し、視力障がい者や高齢者に届けています。

★ありがとうメッセージ「うぶごえ」や「おくやみ」の欄を聞いて連絡ができてよかったです。



志布志町更生保護女性会

「社会を明るくする運動」や「薬物乱用防止キャンペーン」など市内の青少年が健全に過ごせるよう啓発活動に取り組みます。子育てサロンに参加し地域ぐるみで支えています。



有明町更生保護女性会

町内の小中学校校正門前での立哨あいさつ、声掛け運動、駐在所や学校訪問、防災研修へ参加されています。児童、生徒の皆さんが地域で安心、安全で明るく生活できるように活動されています。



地域♥子育て支援サロン MOMOカフェ

子育て支援と地域交流の場づくりを目的に活動されています。オレンジほっとカフェも開催され赤ちゃんから高齢者まで幅広い世代の集いの場となっています。



やちくふれあい子ども食堂

地域の方々、親子、子ども同士が食を通じて、交流の促進を図るために月2回子ども食堂を開催されています。毎回、満腹になった子どもたちの笑顔があふれています。



～ しぶし生活自立支援センター「ひまわり」です ～

生活困窮者支援の一環とし食料支援等を行っています。市民の皆様や団体の方々より食料品や日用品等の寄附をいただき必要とされる方へお届けしています。

◇ご寄附をいただいた方々の一部を紹介します◇



フードバンク大隅・しぶし子ども食堂様
(田浦天志代表)より
令和6年4月、5月、8月、9月にサバイバルパン、菓子等や日用品等の寄附をいただきました。



志布志市商工会女性部様
(柿元まゆみ部長)より
令和6年6月、9月に、お米、カップ麺、菓子類の食料品やトイレレットペーパー等の日用品の寄附をいただきました。



鳥濱一子様より
令和6年4月にお米の寄附をいただきました。



二見孝子様より
令和6年6月、10月に食料品等の寄附をいただきました。



志布志東洋埠頭株式会社様より
令和6年8月にお米の寄附をいただきました。



その他家庭菜園の野菜や米、レトルト食品等たくさんの方の寄附をいただきました。

生活での様々な困りごとの相談を受けています。

生活に困っている方や悩んでいる方がいらっしゃいましたらお気軽にご相談ください。相談は無料です。

**ご寄附ありがとうございます
ございます**

《問い合わせ先》

しぶし生活自立支援センター「ひまわり」

志布志町志布志3丁目27-23

☎099-472-1830



(問合せ先)
志布志市社会福祉協議会
在宅介護課 福祉サービス係
TEL 099-472-1800

**福祉機器の貸し出しを
しています**

志布志市社会福祉協議会では、福祉機器(車いす・電動ベッド・シャワーチェア等)の貸し出しをしています。
料金は無料(電動ベッドのマットレスはクリーニング代が実費)で、貸出期間は最大6か月ですが、福祉機器の運搬は、原則として借り受け者で行っていただきます。
(対象は、市内にお住まいで、疾病・傷病等で一時的に福祉機器を必要とされる方。)
詳しくは、在宅介護課までお問い合わせください。

皆様の善意に 感謝いたします

いただきましたご寄附は、志布志市の地域福祉向上のために有意義に活用させていただきます。ありがとうございます。

香典返し寄附金

寄附者のご承諾をいただいた方のみ掲載をしております。
(令和6年7月22日から
令和6年10月8日まで)

自治会名	寄附者名	物故者名 (敬称略)
自治会名	寄附者名	物故者名
志布志本所受付分		
平和	川畑まち子	故西山ツ子
中西谷	皿良公子	故孝美
中大黒2	松元秀雄	故良子
丸岡	白浜洋一	故貞濱スミ子
松波	池平真知子	故初夫
樽野	徳増良子	故サエコ
北大原	福地アヤ子	故勝也
上有明	重森春男	故幸子
下柳	山重孝幸	故魏
東夏井	平瀬淳一	故津代
中大黒	山下景子	故静
桜ヶ丘	有村ツミ子	故政信
森山	森川英仙	故チドリ
下宮内	谷田光司	故勝弘
昭和	日高るり子	故浩一郎
山久保	小久保勝春	故ナミ子
田吹野	川俣辰雄	故サチ子
大迫	新西澄治	故クニ子
上出水	徳田幸朗	故徳サチ子

有明支所受付分

東原西	山岡タツ子	故利實
下野井倉	野口昭浩	故英子
上善現堂	大堀和幸	故幸雄
中肆部合	山中アサ子	故辰雄
東大久保	安留正昭	故秋雄
高吉	山内勝典	故和子
芝用	石田春嘉	故カズ
中山之口	西洋一	故キミ

松山支所受付分

中原	猪八重孝志	故ミエ
市ノ原	長利久美子	故勇
東野久尾	川島香代子	故信行

次の事業所・団体・個人の方々より市社会福祉協議会にご寄附をいただきました。
(令和6年7月22日から
令和6年10月8日まで受付分)
(敬称略)

篤志寄附金

志布志本所受付

志布志市地域コミュニティ連絡協議会

6,900円
志布志中学校昭和38年卒業生 志友会

物品寄附

自立支援センター「ひまわり」受付

(株)東洋埠頭
精米5kg 4袋

・しぶし子ども食堂
ニューコーンミート、菓子他

・馬場與市
冬瓜 7個

・志布志市商工会女性部
新米 10kg、ジュース、菓子、調味料、日用品 他多数

・匿名希望
糶、食料品 調味料、菓子、日用品 他多数

・日用品 他多数

志布志本所受付

・二見孝子
米5kg、日用品多数

令和6年能登半島地震災害義援金

(令和6年7月22日から
令和6年10月8日まで)

志布志本所受付

(敬称略)

・松山町更生保護女性会

2,120円
・市役所本庁義援金箱

1,333円
・健康ふれあいプラザ義援金箱

5,028円
・市役所有明庁舎義援金箱

有明支所受付

2,643円
・市役所有明庁舎義援金箱

8,613円
・アイシヨップ泰野店

1,661円
・市役所松山庁舎義援金箱

これまでの合計金額
1,718,328円

※この義援金の期間は、
令和6年12月27日までです。

ウクライナ人道危機救援金

(令和6年7月22日から
令和6年10月8日まで)

志布志本所受付

(敬称略)
・市役所本庁救援金箱
251円

有明支所受付

530円
・市役所有明庁舎救援金箱

松山支所受付

360円
・市役所松山庁舎救援金箱

これまでの合計金額
501,537円

令和6年9月能登半島大雨災害義援金

(令和6年9月25日から
令和6年10月9日まで)

志布志本所受付

(敬称略)
・(株)アトム 代表 柿元俊郎
100,000円

2,424円
・志布志市老人クラブ連合会

これまでの合計金額
102,424円

※この義援金の期間は、
令和7年3月31日までです。

「福祉職場就職支援講座」を開催します。

令和7年1月25日(土)、2月1日(土)に、福祉についての理解を深めるとともに、福祉現場で働くために必要な知識や技術などを学ぶための連続講座を開催いたします。

【対象者】

福祉職場に就職・復職を希望する方など

【講座内容(全4回)】
・第1回「福祉の基礎知識①」歴史、法律、制度、福祉の現状と将来

・第2回「福祉の基礎知識②」福祉の各分野と福祉サービスを支える様々な職種、施設、資格

・第3回「介護技術の基礎①」立位、ベッド上での移動、車椅子の介助

・第4回「介護技術の基礎②」衣類の着脱、排泄の介助

【日程】
1月25日(土)：第1回・第2回
2月1日(土)：第3回・第4回を開催

【募集定員】
各回40人(申込先着順)

【開催場所】
カクイックス交流センター(かこしま県民交流センター)

【申込締切】
令和7年1月10日(土)(必着)

【申込方法】
所定の受講申込書に必要事項を記入の上、お申し込みください。

※詳しくは、鹿児島県社会福祉協議会のホームページをご覧ください。

【問い合わせ先】
鹿児島県社会福祉協議会
福祉人材・研修センター

TEL 099-258-7888
FAX 099-250-9363

Email: jinzai12@kaken-shakyo.co.jp